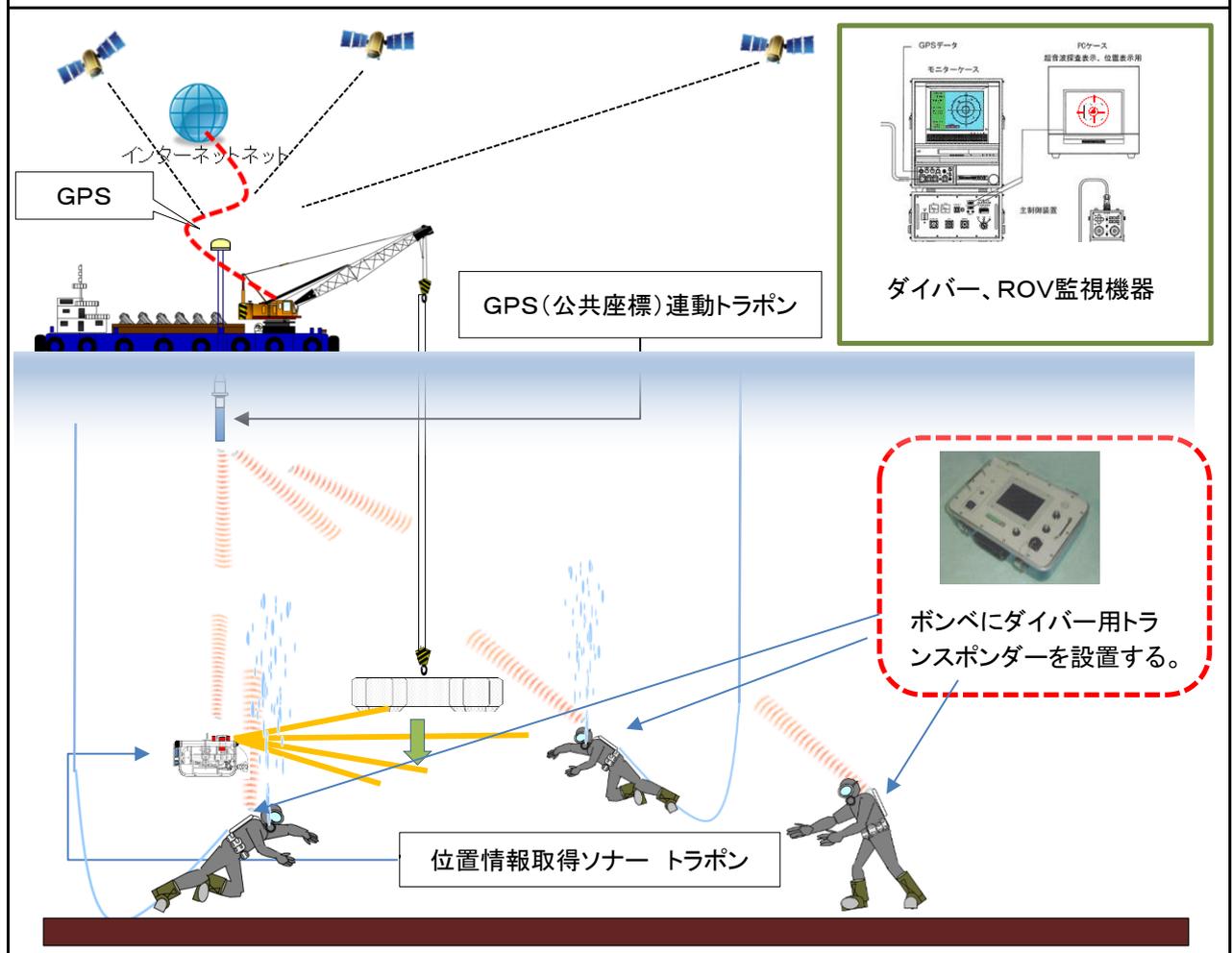


OPEN現場「緊急時警報共有システム」HK-120035-A」

追加機能説明：「水中ダイバー位置把握及び注意喚起装置」

何処に使うか	具体的な機能	期待される効果
1、根固ブロック据付時接触防止 2、被覆ブロック据付時注意喚起 3、水面下のダイバー位置把握 4、深層部、狭い場所、及び人が入れない危険な場所でダイバーの配置をしなくてROV水中カメラで施工できる。	a 起重機船オペレーター席より、水中下のダイバー位置を把握	目的物の状況を確認しながら、ダイバーの安全を確保できる。
	b 水中下のダイバーに目的物が近づくとクレーンのオペレータに注意喚起	水中下の目的物設置時にダイバーの位置を確認しながら施工ができる。
	c ダイバーを配置しないで目的物を設置	潜水士の負担が軽減できる。潜水士の安全を確保できる。

「高性能ソナー」



OPEN現場「緊急時警報共有システム」HK-120035-A

追加機能説明：「水中測位装置ダイバートラポン仕様書」

概要説明

【概要】

水中下のダイバーのボンベに取り付けたトランスポンダをSSBL方式で
(Supper Short Base Line)測位する。

船上及び陸上の監視機器により水中のダイバーの行動を監視するとにより安全を確保する。

画面表示 (水中位置表示・前方音響ソナー)



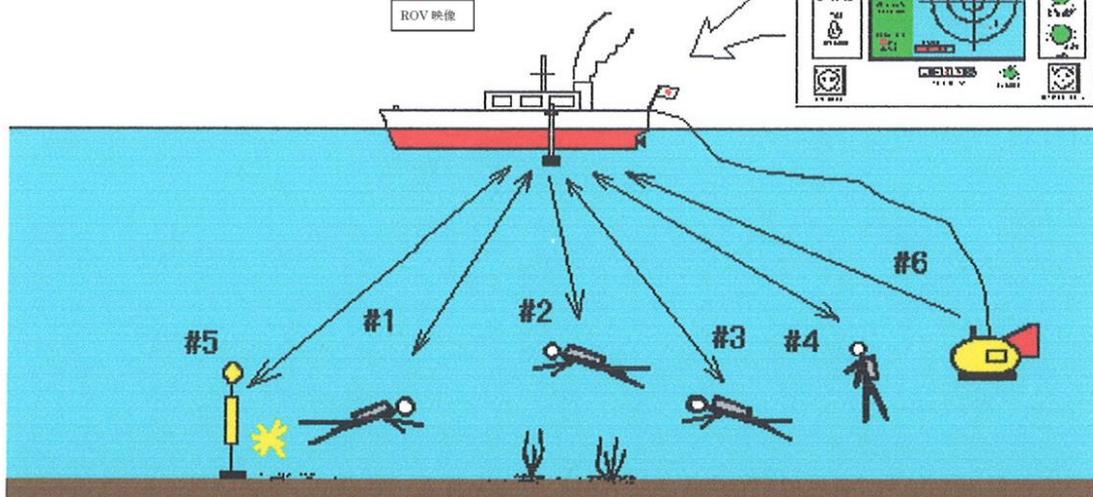
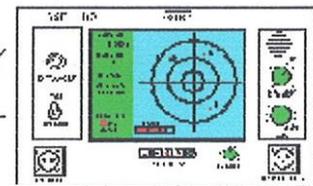
ノート PC (15 寸相当)



ROV 水中位置表示

前方音響ソナー

ROV 映像



本装置はトランスポンダ(受信機)をダイバーの空気タンクに取り付ける。(写真)



船上に、トランポンダ(発信機)を設置す



OPEN現場「緊急時警報共有システム」HK-120035-A

追加機能説明：「水中測位装置ダイバートラポン仕様書」

2. 成

本装置の構成を表1-1に示します。

表 1-1 構成品表

番号	品名	数量	備考
1	船上処理装置	1式	(電源ケーブルを含む)
2	送受波器	1式	ケーブル15m付き
3	トランスポンダ	1式	最大6個構成可能
4	取扱説明書	1式	

3. 仕様

3.1 船上処理装置

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| (1) 方式 | SSBL方式 |
| (2) 測位レンジ(水中距離) | 0~500m (水深)100m以内 |
| (3) 測定精度 | 1%以下 |
| (4) 受信周波数 | 24~27kHzの内の1波 |
| (5) 送信周波数 | 19kHz |
| (6) 表示方法 | 極座標表示方法
スラントレンジ、方位角(船首方位)を表示 |
| (7) ターゲット数 | 2個[オプションで最大6個] |
| (8) 電源電圧 | AC100V±10% 50~60Hz |
| (9) データ出力(オプション) | RS232C |

3.2 送受波器

- | | |
|--------|----------|
| (1) 受信 | 3素子平面配置 |
| (2) 送波 | 受波器上部一体型 |

3.3 トランスポンダ

- | | |
|------------|-------|
| (1) 受信周波数 | 19kHz |
| (2) 送信周波数 | 25kHz |
| (3) 最大使用水深 | 50m |